



詩に就て

カンボス 青年

「詩は吾が悔悟なり」と言ふのは詩聖ゲーテの言葉であつたと思ふ。僕もまた文學は自分の恥をさらしたと言ひ度い。その恥を悔悟もなく廣告し自分の秘密を發表して人間性のある者として生きて居る者が文學者だつてゐると思ふ。...

文學は個定であつてはならない。絶えず個定を破壊して新しいものを創造し無限の視野を開拓しなければならぬ。それが文學の本質である。...

上塚翁追悼の歌
サント・アンドレ
伊藤 花子
開拓の父世を去りまして
十三年の忌を控へて
生涯の名利を捨てて
移住の父苦の苗は木と
繁りて餘多きを結ぶ
秋老けて葉は枯れぬ
千世の春に花の種子は芽生
そここそに健全にして正しい文

父母の思ふより高しと言はるるれど如何につくさん孝養
歌は幼推ではあるが眞實
かこつてゐるのので
さいする事にして(選考)
イタプーラ記行
遠藤 八洲
狂ひ立ちどろにひびく荒
瀧の立つ水煙昇龍に背て
落つ水の岩に砕けて立つ
法乙女と愛しとどろしつ
荒瀧の岸邊に立ちて友の持
つかまつるに微笑む
女
荒瀧のしづかに濡れて立つ
男の子今日の夢と鮮魚あ
また
世は變り人は移り荒野
に見る影も無き城のたゞ
ふんべつ二世の遊りし
この古城壁に入りてし
若むしきははしれし石
さみ世記の夢を物語るの
この城を守りて驚る兵士の
墓や何處ぞ草むす野末

Table with columns for names, amounts, and locations. Title: 沖繩救済資金寄附申込金額及芳名 (第二回). Includes sub-headers for 'イタプーラ記行' and '飼ひ犬'.

沖繩救済委員会
前同分 一八九三、二九〇、三九〇、四九〇、五九〇、六九〇、七九〇、八九〇、九〇〇、一〇〇〇、一一〇〇、一二〇〇、一三〇〇、一四〇〇、一五〇〇、一六〇〇、一七〇〇、一八〇〇、一九〇〇、二〇〇〇、二一〇〇、二二〇〇、二三〇〇、二四〇〇、二五〇〇、二六〇〇、二七〇〇、二八〇〇、二九〇〇、三〇〇〇、三一〇〇、三二〇〇、三三〇〇、三四〇〇、三五〇〇、三六〇〇、三七〇〇、三八〇〇、三九〇〇、四〇〇〇、四一〇〇、四二〇〇、四三〇〇、四四〇〇、四五〇〇、四六〇〇、四七〇〇、四八〇〇、四九〇〇、五〇〇〇、五一〇〇、五二〇〇、五三〇〇、五四〇〇、五五〇〇、五六〇〇、五七〇〇、五八〇〇、五九〇〇、六〇〇〇、六一〇〇、六二〇〇、六三〇〇、六四〇〇、六五〇〇、六六〇〇、六七〇〇、六八〇〇、六九〇〇、七〇〇〇、七一〇〇、七二〇〇、七三〇〇、七四〇〇、七五〇〇、七六〇〇、七七〇〇、七八〇〇、七九〇〇、八〇〇〇、八一〇〇、八二〇〇、八三〇〇、八四〇〇、八五〇〇、八六〇〇、八七〇〇、八八〇〇、八九〇〇、九〇〇〇、九一〇〇、九二〇〇、九三〇〇、九四〇〇、九五〇〇、九六〇〇、九七〇〇、九八〇〇、九九〇〇、一〇〇〇

詩

サボテンと人生
サボテンよサボテンよ
サボテンよサボテンよ
サボテンよサボテンよ

短歌

八月の半もなれば
所々に立上る
煙々々々
朝な夕な

俳句

遊び事ではな
五年、十年いづ一生進んで
行つてこの歌の真蹟に
れる事が出来るのだ

小説

野に咲く花は富貴の庭園に
乱るべし花は富貴の庭園に
乱るべし花は富貴の庭園に

PHILIPS
MAX MALKIND
高機能インテリゲンツァ
マルキンド印

PEIXARIA SAO PAULO
鮮魚
サンパウロ魚店

REVISORA CONTABIL
AUDITÓCNICA, LTDA.
土橋會計事務所

ALFAIATARIA
PROGRESSO
田平

料亭
くらね
伊藤電機専門店